

明るい取手

2011年8月21日(日)

発行:日本共産党取手市委員会

取手市井野3-19-6 TEL.72-7816

生活のお困りごとなどお気軽にご相談を

- 高木晶市委員長 / TEL74-2004
- 林 みやこ市議 / TEL78-8481
- 遠山ちえ子市議 / TEL83-8290
- 加増みつ子市議 / TEL74-8154
- 野口りえ子市議 / TEL78-2828
- 鈴木潔相談室長 / TEL74-8160

原発災害対策拡充を求め、国に申し入れ



8月12日、日本共産党茨城県委員会と同南部地区委員会は、国に福島原発事故に伴う災害対策の拡充を申し入れました。

塩川鉄也衆院議員が同席し、各市町議らが、経済産業、文部科学、農林水産の各省に要望書を提出しました。取手からは遠山ちえ子・加増みつ子両市議、鈴木きよし相談室長が参加し、みなさんから寄せられている切実な声を届けてきました。

取手では、早急な「放射能除染」が求められている

国への申し入れ内容 (抜粋)

- モニタリングポストをすべての市町村に設置すること。
 - 子どもの健康チェックのためホールボディカウンター設置への補助、貸与などの対応を。また、子どもの被放射線量の基準を医学的根拠をもとに明確にすること。
 - 校庭・園庭などの汚染土除去の国の補助基準1マイクロシーベルト/時を、年1ミリシーベルトに見合うよう引き下げること。
 - 家庭の雨どい下などの放射線量の高いところを、家庭でできる対策のための手引書を作成配布し、対策の徹底を図ること。
 - 農産物の汚染を測定する体制をつくること。放射線被害や風評被害への価格補償をすること。
 - 東海第2原発は廃炉にすること。
- …など14項目を申し入れ

取手では、汚染土の国の「除去基準」に関連して、市内の学校、保育園からレベルの高い数値が明らかにされており、早急な除染が求められていることを要望しました。しかし文科省の答弁は、「福島で汚染土の除去を行なったが、1マイクロシーベルト以下にはなりましたが、それ以下にはならない」とし、1マイクロシーベルト/時をあくまでも除染の基準にする考えを変えない」というものでした。

これに対し、「取手では、小学校の校庭で1.31マイクロシーベルト/時と高い数値が出され、PTAが自発的に表土除去して、線量値が5分の1に減っている」という事実を示し、「子どもたちの健康を守るために力を

つくすのが文科省の責任ではないか、そのためにも少なくとも年間1ミリシーベルトの基準を守ることが重要だ」と厳しく指摘しました。これに対し、文科省は「国際防護委員会では基準があるが、どうするかは「検討課題」と苦しい答弁でした。

また、子どもの健康チェックについても「国際防護委員会では基準があるが、どうするかは「検討課題」と回答。いまだに検討もされていません。

老朽化が進み、震災後は稼働停止している東海第2原発の廃炉を求める要望に対し、原子力安全・保安院の担当者は「安全確認後、地元の了解を得て運転を再開して

いただきたい」と述べ、廃炉に背を向けました。

深刻な放射能汚染に対する国の対応の「遅れ」「ひどさ」にはあきれざるばかりです。

さらに、声を大きくして、原発災害から子どもをはじめとする県民の健康を守る取組みを強めて行く必要があることを強く感じた、今回の国への申し入れ行動でした。



右から、加増みつ子市議、遠山ちえ子市議、鈴木きよし相談室長 相手側は文部科学省

ただ今放射線量測定中

日本共産党取手市委員会は放射線量測定器を購入、住民、後援会のみなさんと測定しています。



測定したい箇所などありましたら、日本共産党取手市委員会にご相談ください。

2011 市民アンケート結果中間報告

裏面参照ください

日本共産党取手市委員会は、今年7月から、「市民アンケート」実施してきました。現在まで回答のあった分について、その集計結果のをお知らせします。

ご協力ありがとうございました。



一人で悩まずに

生活相談・労働相談 / 弁護士無料法律相談

電話 72-7816

2011 市民アンケート中間集計結果

(8月10日まで回答のあった534通分の集計)

1 東日本大震災・福島第一原発事故について

1.1 大震災について

a. あなたのお家の被害はどうでしたか

①被害があった	60.6%
②被害はなかった	35.2%

b. 取手市の震災対応について

①十分	5.9%
②不十分	36.4%
③わからない	47.9%
④その他	4.7%

c. 国の震災対応について

①十分	7.7%
②不十分	71.3%
③わからない	12.1%
④その他	3.2%

1.2 原発事故について

a. 事故後の状況に

①心配している	91.1%
②心配してない	3.8%
③わからない	0.9%

b. 国の事故対応について

①十分	8.3%
②不十分	78.5%
③わからない	6.0%
④その他	2.6%

c. 取手市の放射能対応についてどう思われていますか

①十分	3.8%
②不十分	63.3%
③わからない	24.8%
④その他	3.8%

1.3 「原発」について（複数回答可）

①これからも「原発」を増やしていく	1.6%
②「原発」は現状のまま、新設はしない	13.4%
③期限を決めて、「原発」から撤退する	28.8%
④「原発」は、ただちに廃止する	10.2%
⑤自然エネルギーの導入など エネルギー政策の抜本的転換	38.4%
⑥わからない	1.6%
⑦その他	4.2%

1.4 「東海第二原発について

①これからも「稼働」を続ける	8.5%
②この際、「廃炉」とする	59.7%
③わからない	16.6%
④その他	8.3%

4 国政について

4.1 「社会保障財源」、「復興財源」はどうすべきとお考えですか（複数回答可）

①大企業減税をやめる	12.3%
②株など証券取引優遇税制をやめる	9.1%
③復興財源は、大企業の内部留保を活用する 「復興債」でまかなう	8.2%
④消費税を上げる	7.1%
⑤公共事業の見直し	11.5%
⑥軍事費の削減	9.4%
⑦政党助成金の廃止	15.4%
⑧経費削減・ムダ排除	19.4%
⑨その他	4.1%

2 暮らしについて

2.1 あなたの暮らしむきは、昨年とくらべてどうですか。

①苦しくなった	57.6%
②楽になった	1.5%
③かわらない	33.7%

a. 苦しくなったという方、どんな状況ですか。

①ここにきて苦しくなった	29.9%
②ますます苦しくなった	19.7%
③最悪の状態だ	5.9%

2.2 生活する上で、お困りのことは何ですか。（複数回答可）

①賃金が減った	8.2%
②年金生活（収入減）になった	9.6%
③年金の目減り	13.3%
④失業	2.4%
⑤売り上げ（仕事）減	4.3%
⑥医療費の負担増	8.7%
⑦増税による負担増	8.9%
⑧国保税・介護保険料の負担増	17.0%
⑨公共料金の負担増	7.2%
⑩教育費支出増	2.2%
⑪扶養家族が増えた	1.1%
⑫買物に行くのに不便になった	10.6%
⑬その他	2.8%

2.3 行政に優先して取り組んでほしいことは何ですか。（複数回答可）

①税金、国保税、介護保険料・利用料の負担軽減	15.5%
②医療体制の充実	9.9%
③年金問題	11.3%
④子育て支援	5.7%
⑤景気、雇用対策	11.4%
⑥防災まちづくり	6.0%
⑦放射能対策	18.7%
⑧道路・下排水の整備	6.9%
⑨自然保護・環境対策	6.6%
⑩減量化などごみ対策	3.3%

3 具体的にお聞きします

3.1 国保税について

①高すぎる下げてほしい	62.4%
②高いががまんする	15.5%
③現行でよい	7.4%
④よくわからない	10.6%

3.2 小学校統廃合について

①賛成	28.5%
②反対	19.5%
③わからない	32.8%
④計画を見直す	9.8%
⑤その他	3.2%

4.2 「憲法」を変えよとの意見が一部にでていますが、あなたはどうか考えますか。

a. 憲法について

①変える必要はない	40.3%
②変えた方がよい	27.5%
③その他	11.0%

b. 第9条（戦争放棄・軍隊はもたない）について

①堅持する	59.3%
②変えた方がよい（軍隊を持つべき）	19.3%
③その他	6.4%

集計には、複数回答の項目や無回答もあり、合計は必ずしも100%にはなりません。

アンケートへのご協力ありがとうございました。
寄せられたご意見などについては引き続き「明るい取手」などで、みなさんにお知らせしていきます。
— 日本共産党取手市委員会 —